

【事業者向け】児童発達支援 自己評価表

6名回答

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			
	2	職員の配置数は適切であるか	○			・特性に応じて、その日の人員配置を工夫している。 ・人数や特性により、足りないと感じる時もある。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がい者の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			・訓練室内の床にはマットを使用。室内環境においても不必要な物を置かず、構造化に配慮している。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○			
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			・2021年6月に事業を開始し、初の評価表である。 ・評価表とは別に、保護者に向け支援についてのアンケートを配布し意見を記述頂いている。今後も全体で把握し、業務につなげていきたい。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			・2021年6月に事業を開始したため、今回が初の公開となる。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			
適切な支援の提供	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			・定期的に支援勉強会をしている。施設内研修にも参加し職員全体の資質向上に努めている。ポーター協会などの研修情報も積極的に伝えている。
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○			・初回の聞き取りはしっかり時間をとりアセスメントをしている。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○			・発達支援(生活・社会性・運動)や家族支援・地域支援については支援計画に盛り込まれている。 ・地域支援については、保護者の許可を得た上で関係機関に訪問し、支援計画に反映している。 ・家族支援については、活動中の助言や要望により個別に対応させていただいている。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○			・ケース記録にも支援計画内容を記載することで、常に必要な支援を確認できるようにしている。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			・週交代制で立案者が中心となり、他職員や児童発達支援管理責任者と相談しながらプログラムを作成している。

	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			・年間スケジュールを作成し、プログラムが偏らないように計画を工夫している。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○			・個々のこどもの年齢や特性に応じて、集団と個別の活動を組み合わせる利用して頂いている。	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			・朝のミーティングにおいて、当日の利用児情報や、プログラム内容について確認している。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			・職員間でその日の支援をふり振り返り、こどもの様子などを共有し、担当がケース記録にまとめている。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			・問題行動等に対する支援についても、観察と記録をもとに職員間で話し合い、検証している。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○			・面談によるモニタリングの他に、活動中に保護者とコミュニケーションをとりながら、成長の様子を確認し、計画と照らすようにしている。	
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○				
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○			・乳幼児健診からの相談や、関係機関からの紹介などもあり、情報を交換しながら支援している。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか		○			・現在の所、該当なし。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか		○			・現在の所、該当なし。
	25	保育所や認定子ども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○				・医療療育センターによる巡回発達検査やケース検討会を開催し、子ども園や支援学校等、関係機関との情報共有にも努めている。
	26	小学校や特別支援学校(小学部)との間で、移行にむけた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○				・小学校や保護者からの要望があった場合は、移行前の支援内容などの情報提供をしている。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○			・他事業所を利用している場合は、他事業所へ伺ったり、電話等で情報交換し連携をとっている。現在はコロナ禍のため訪問は自粛している。
	28	保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		○			・コロナ禍もあり実施の機会はなくなっている。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加しているか	○				・自立支援協議会児童支援部会や自治体主催の支援会議に参加して情報交換をしている。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○				・保護者同伴での活動が主なため、活動中に保護者ともコミュニケーションをとり、こどもの成長の様子を共有している。

	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○			・子育てや関わり方に悩む保護者に対して、ペアレントトレーニングをお勧めしている。また個別の相談に応じたり、集団活動中にこどもへの関わり方の助言をしている。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○			
	34	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			・ご相談をいただいた際に適宜助言や支援を行っているが定期的ではない。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			・現在、父母の会などの活動はない。保護者の交流会や勉強会を開催し、保護者同士の情報交換の場を設けている。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			・保護者からの相談内容を整理し、了解を得てこども園や相談支援事業所、関係機関等と連携するようにしている。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			・年2回、会報を発行している。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○			・写真掲載についても、事前に保護者の意向や承諾を得るようにしている。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			・特性に合わせたコミュニケーションをとり、意思疎通に配慮している。また保護者同伴での活動が多いため、保護者の話を聞く機会も多い。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			・年間行事として、地域交流のための『かのみまつり』を計画しているが、コロナ禍のため現在は事業所内の行事に縮小されている。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○			・各種マニュアルは策定済み。保護者への周知は行っていない。定期的に職員全体で訓練を実施している。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			・職員だけでなく、利用児の避難訓練(年長クラス)も実施している。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○			・アセスメントシートにて持病の確認は行っている。服薬の状況や発作の頻度などは、その都度聞き取りし把握に努めている。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			・現状では、食物アレルギーの該当児童はいない。食事提供は行っていないため、提供がある活動の際は事前に再確認をしている。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			・ヒヤリハット記録を取り、アクシデントにならないように配慮している。事例集は作成していない。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			・虐待防止委員会によるチェックリストの実施や、研修を行うことで防止に努めている。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○			・現在の所、該当するこどもはいない。